

いま世界で起きている悲しい現実。私たちにできることを考えてみよう

貧困 10人に1人が5歳になるまでに命を落としている

貧困な家庭で生まれた子供の5歳未満の死亡率は裕福な家庭の約2倍です。

教育 約2億6000万人の子どもが学校に通えない

生活のために働かなければいけない子供たちがいます。教育を受けることができれば、貧困の連鎖を断ち切ることができます。

食料不足 7億人以上が十分な栄養を取ることができない

飢餓に苦しむ人は増え続け、世界人口の9人に1人が栄養不足に陥っています。

水と衛生 10人に3人はきれいな水を飲むことができない

2050年までには4人に1人が水不足の状態にある国に暮らすことになると言われています。

温暖化 北極・南極の氷がとけている

地球温暖化によって、ホッキョクグマやアザラシたちの生息地が減っています。このままでは地球の平均気温が上昇し、あらゆる生態系が影響を受けかねません。

プラスチックごみ問題 クジラや魚のおなかからプラスチックが出てくる

世界の海に流れ込むプラスチックなどのゴミの量が増えていることが、生態系や環境・経済に大きな影響を及ぼしています。

もしかして、私たちが捨てたプラスチックをクジラが食べちゃったのかな。

きれいな水って 当たり前にあるものじゃないんだね。

What's SDGs ?

持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの達成を目指す世界共通の目標です。

「誰一人取り残さない」という理念の下、貧困や飢餓の撲滅、環境保全、気候変動への対応、男女平等の実現など17の目標を掲げて、途上国や先進国を問わず世界中での多様な取り組みを推進しています。



SDGsは皆さんが主役

募集中！

「こまつ100クラブ」活動助成

学校で、職場で、地域で、
100通りのアクションを生み出そう！

助成金額 上限5万円(1団体あたり)
※団体の運営経費や団体メンバーへの謝礼、飲食費は対象外。

対象団体 市内で活動する団体
・5人以上
・結成5年以内

対象活動 地域貢献のための活動
・コミュニティ活性化
・地域福祉の向上
・生涯スポーツの推進 など

申込方法など詳しくは

こまつ100クラブ



地球みんなの幸せのために 私たちにできること

SDGs(持続可能な開発目標)という言葉を目にしたことはありますか。人類や地球をとりまく様々な課題に目を向け、未来を変える取り組みが世界中で始まっています。令和の新時代となった今、私たちにもできることがないか考えてみませんか。

一人ひとりの想いと力を大きく集めれば、よりよい未来が生まれます。このまちそして地球の未来をイメージし、次世代につなぐアクションを小松から広がっていきましょう。

皆さんの取り組みやご意見を
市ホームページまでお寄せください

SDGsこまつ





日本の真ん中から地球貢献するまちへ

SDGs未来都市こまつの まちづくり・ひとづくり

小松のものづくりパワーを世界中に あらゆる産業をイノベーションする

経済 Economy

ボーダーレス化や技術革新の中でも、たくましく新しい価値の創出が求められます。培われたものづくりの知恵と技術力を発揮して、AIや5Gなどの新技術や脱炭素の企業経営を地域産業全体に広めるとともに、農林業の高度化や6次産業化、女性を始めとする多様な活躍を推し進め、より良い取り組みを世界中に広めます。

国際化・高齢化が進む時代だから 新しい幸せのカたちをつくる

社会 Society

急速な高齢化やグローバル化の影響は私たちの暮らしにも広がっています。大きな変化の中で、一人ひとりの幸せを考えることが大切です。予防に着目した健康づくりや、力強いコミュニティづくり、スポーツや音楽などの多彩な交流と多文化共生を進め、みんなが幸せを感じる質の高い社会を築きます。

大好きなこのまち、美しい地球のために こちよいまちと心を育む

環境 Environment

小松の美しい自然、そして木場潟の再生やごみ減量への高い意識は、次世代に引き継ぎたい私たちの財産です。その尊い志とともに、環境再生やエコ活動を積極的に進め、プラスチックごみ問題など世界的課題にも立ち向かいます。またフローラル活動など、やさしさを育む多様な取り組みも世界に発信します。



総理大臣官邸で内閣総理大臣より選定証が授与されました。

SDGs未来都市に選定 (2019年7月1日)

ビジョンを掲げ、共創とひとづくりをエンジンとして進めてきたまちづくりは、地方創生分野でSDGsの全国モデルとして評価されています。

みんなでスクラム

SDGsは市民や地域、企業、行政ら、みんなで取り組むことが重要です。新時代を描いた20年ビジョンを作り、多様なパートナーと共に行動します。

学びをまちいっぱい

まちづくりはひとづくりから。小松駅周辺や里山地域など学びのエリアや、幼少期からの一貫したひとづくり体制を充実させ、SDGs教育を実践します。

共創の力
Co-creation

2つの推進力

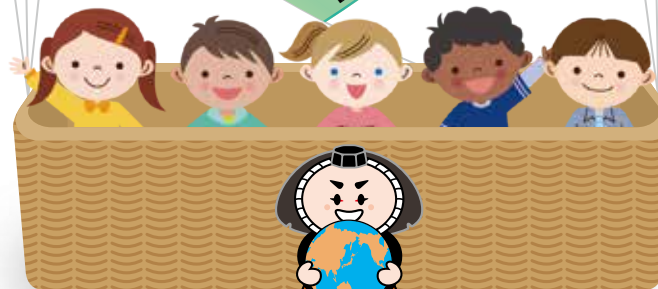
学びの力
Human

3つの取組分野

経済
Economy

社会
Society

環境
Environment



2011

10年ビジョン 策定(～2020)



2016 ふるさとこまつを未来へつなぐ条例 制定
“PASS THE BATON”を合言葉に、次世代につなぐまちづくりの推進を定めました。



2015 国際都市こまつへ 都市の将来像を策定

まちづくりの指針
小松市都市デザイン 制定(～2025)

↓ 具体的イメージ化
NEXT10年ビジョン (～2025)

地方創生の行動計画
こまつ創生総合戦略 (2015～2019)



SDGs(持続可能な開発目標)は、全世界が将来へ取り組むべき行動目標で、「経済」・「社会」・「環境」の3つの分野を一体で考え解決することが大切です。

私たち小松市は、時代の変化を先取りして、まちの未来を「ビジョン」に描き市の予算にもSDGsの考えをリンクさせまちづくりを進めています。

これからも、私たちの特色を活かした様々な取り組みと、多様な人びとの「共創」と「学び」の2つの推進力で、より良い未来へ歩み続けます。

2040
もっと新しい未来の小松へ
20年ビジョン最終ゴール

2035

2030
SDGsの目標年
20年ビジョン最初のターゲット

2025

2019-2020
SDGsを反映した将来像策定へ
小松市都市デザイン2020版(～2040)

↓
20年ビジョン(～2040)

↓
こまつ創生戦略PART II (2020～2024)
(いずれも仮称です)